

たかすなわちわざをなす
鷹乃學習

令和7年9月19日発行

進路後援会



○高等部3年生職業科「豊かな社会生活に向けて～先輩から学ぶ」を後援会会員の皆さん、出席した保護者の皆さんが参観しました

令和5年度卒業の岩本真依さんを招き、社会人の生活について学びました。

高等部3年生の生徒が、仕事、生活、余暇等のことについて知りたいこと、悩んでいることを卒業生の真依さんに聞きました。真依さんは自分の経験したことや経験を基にしての考えを話してくれました。質問内容の一部を紹介します。



就職の決め手はなんですか。

作業学習で頑張っていた清掃関係の仕事に興味があったが、中々結びつかず、**進路に悩んだ**。他の職種の中から、施設の調理補助の仕事があることを知り、**実習を重ねて、現在の職場に就職**した。



在学期間中に身に付いた力はなんですか。

自分から話すことは苦手だったが、挨拶は「**自分から**」「**初めての人にも**」できることだと学んだ。現場実習や学校生活を通し、元気な挨拶ができるようになった。また、**自分から「聞く」、「分かりました」と必ず返事をすること**の大切さも学んだ。



○授業参観後、「継続して働くために必要な力」について情報交換・意見交換をしました。

高等部3年生から出た質問、真依さんが話したことを踏まえ、次のようなことが話題に挙がりました。

- ・**学校側と職場との情報共有が大切**で、対応について共有できるとよい。
- ・調理補助の仕事に清掃の力は必要であり、学校で培った力は役立っている。仕事を継続するために、**現場とのコミュニケーション**が必要である。
- ・**自分で質問する力**がさらに伸びていくとよい。
- ・分からぬことを周りに聞く、困ったら、周りに助けを求める力を持つために、**地域全体でサポート**することが大切だと感じた。



今回は、高等部の授業を基に紹介しましたが、「働くために必要な力」の基礎は普段の生活の中に隠れています。例えば、自分で朝起きる、自分で荷物の準備をする、集団の中で一緒に行動をする等です。日々の生活を振り返り、一人でできること、確実にできる部分を増やしていくとよいですね。

